

# 2018年3月期 第3四半期 決算説明会



e-Palette Concept  
(CES発表車両)

トヨタ自動車株式会社  
2018年2月6日

# 将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆ 日本、北米、欧州、アジアおよび当社が営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
- ◆ 為替相場の変動(主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、ロシア・ルーブル、加ドルおよび英国ポンドの相場変動)および金利変動
- ◆ 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- ◆ 効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- ◆ 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施する当社の能力
- ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制および政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいて当社の自動車事業に影響を与えるもの、または現在・将来の訴訟やその他の法的手続きの結果を含めた当社のその他の営業活動に影響を与える法律、規制および政府政策の変更など
- ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における政治的および経済的な不安定さ
- ◆ タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにする当社の能力
- ◆ ブランド・イメージの毀損
- ◆ 仕入先への部品供給の依存
- ◆ 原材料価格の上昇
- ◆ デジタル情報技術への依存
- ◆ 当社が材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
- ◆ 生産および販売面への影響を含む、自然災害による様々な影響

以上の要素およびその他の変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

# 将来予測・インサイダー取引について

インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービス)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

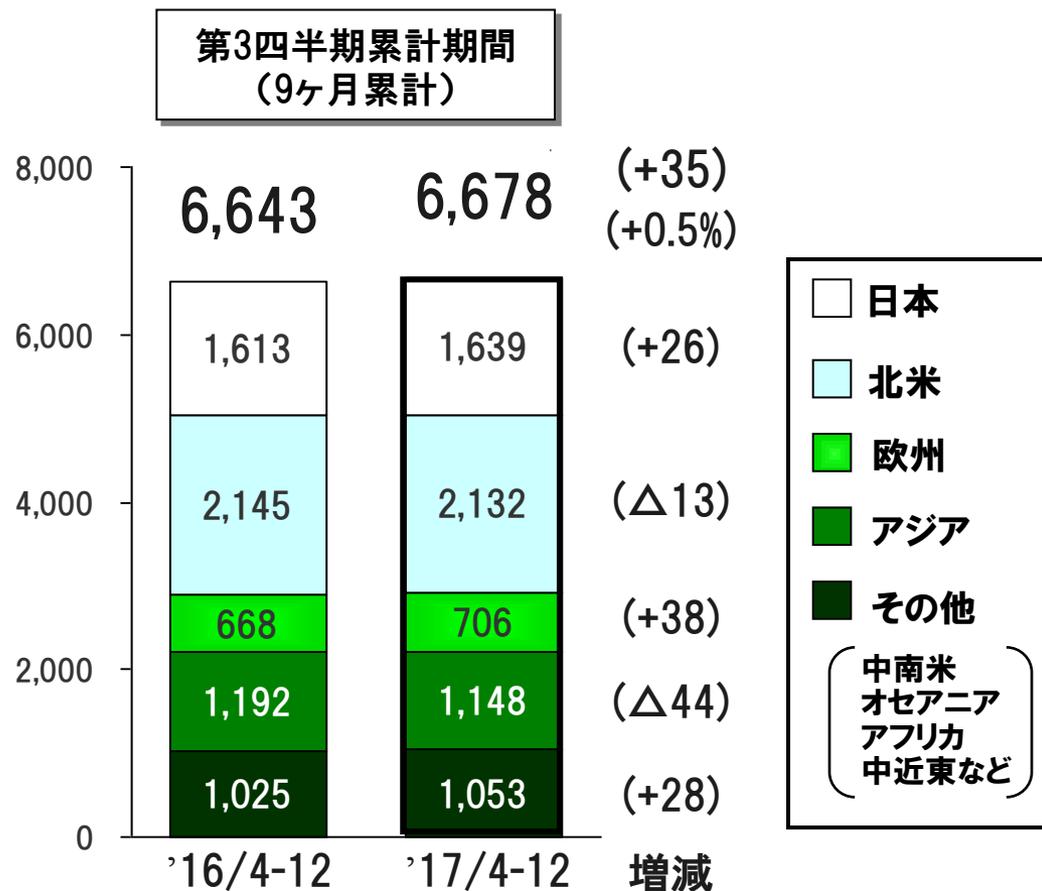
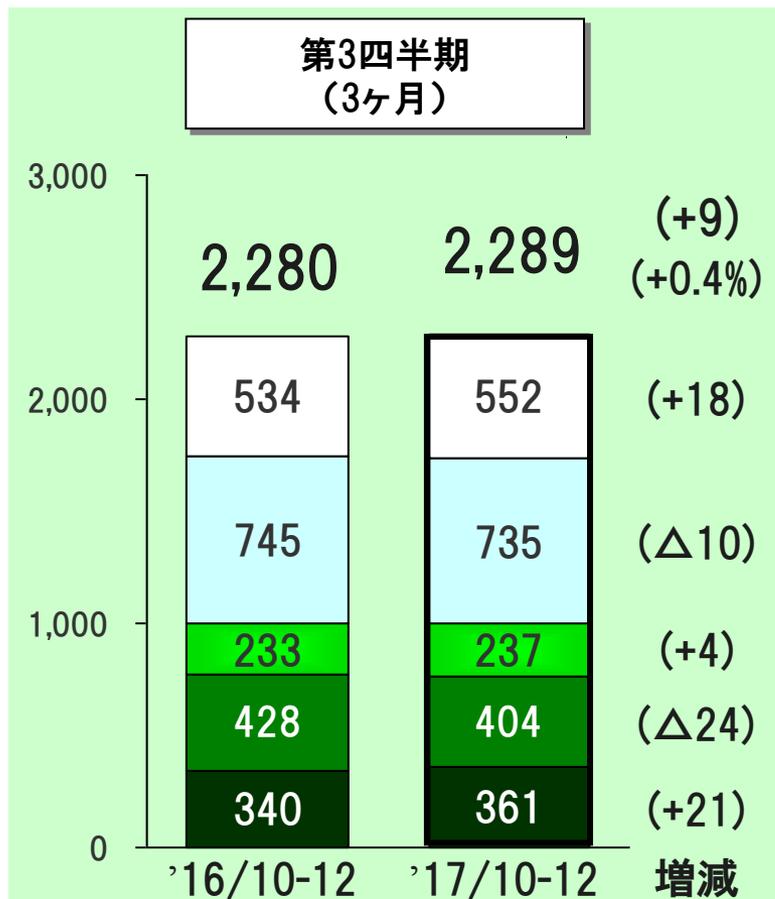
# 2018年3月期 第3四半期 決算説明会

2018年3月期 第3四半期 実績

2018年3月期 見通し

# 連結販売台数

(単位:千台)



グループ総販売台数(小売)

2,645	2,631	△14
-------	-------	-----

7,712	7,847	+135
-------	-------	------

# 連結決算要約（3ヶ月）

（単位：億円）

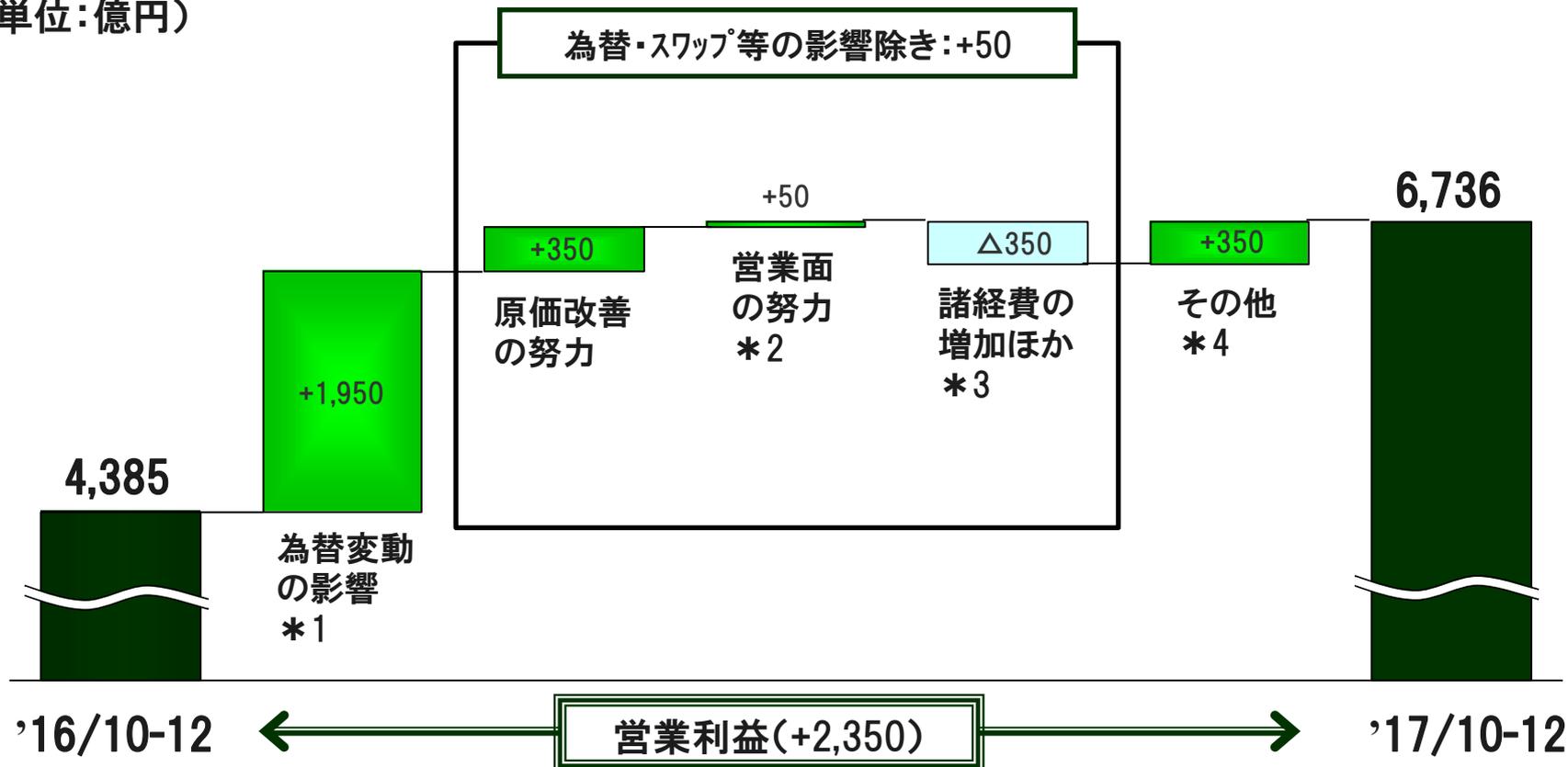
	当第3四半期 ('17/10-12)	前年同期 ('16/10-12)	増減	
<b>売上高</b>	76,057	70,841	+5,215	+7.4%
<b>営業利益</b>	6,736	4,385	+2,350	+53.6%
営業利益率	8.9%	6.2%	-	-
<b>税金等調整前 当期純利益</b>	7,509	5,875	+1,634	+27.8%
<b>当期純利益</b> *1	9,418	4,865	+4,553	+93.6%
当期純利益率*1	12.4%	6.9%	-	-
<b>1株当たり利益</b> *2 (希薄化後)	314.99円	159.54円	+155.45円	-
為替 レート	米ドル ユーロ	113円 133円	109円 118円	+4円 +15円

\*1.当社株主に帰属する当期純利益

\*2.当社普通株主に帰属する当期純利益

# 連結営業利益 増減要因 (3ヶ月)

(単位:億円)



*1.内訳※		*2.内訳		*3.内訳		*4.内訳	
輸出入等の外貨取引分	+750	海外子会社の	+100	台数・構成	+600	労務費	Δ150
-米ドル	+350	営業利益換算差		金融事業	±0	減価償却費	Δ100
-ユーロ	+250	その他	+1,100	その他	Δ550	研究開発費	Δ50
-その他通貨	+150	(外貨建引当の期末換算差ほか)				経費ほか	Δ50
						スワップ評価損益	+350
						ほか	

※先期末より、「為替変動の影響」に、海外子会社の営業利益換算差や外貨建引当の期末換算差等を含めています。

# 連結決算要約 (9ヶ月累計)

(単位:億円)

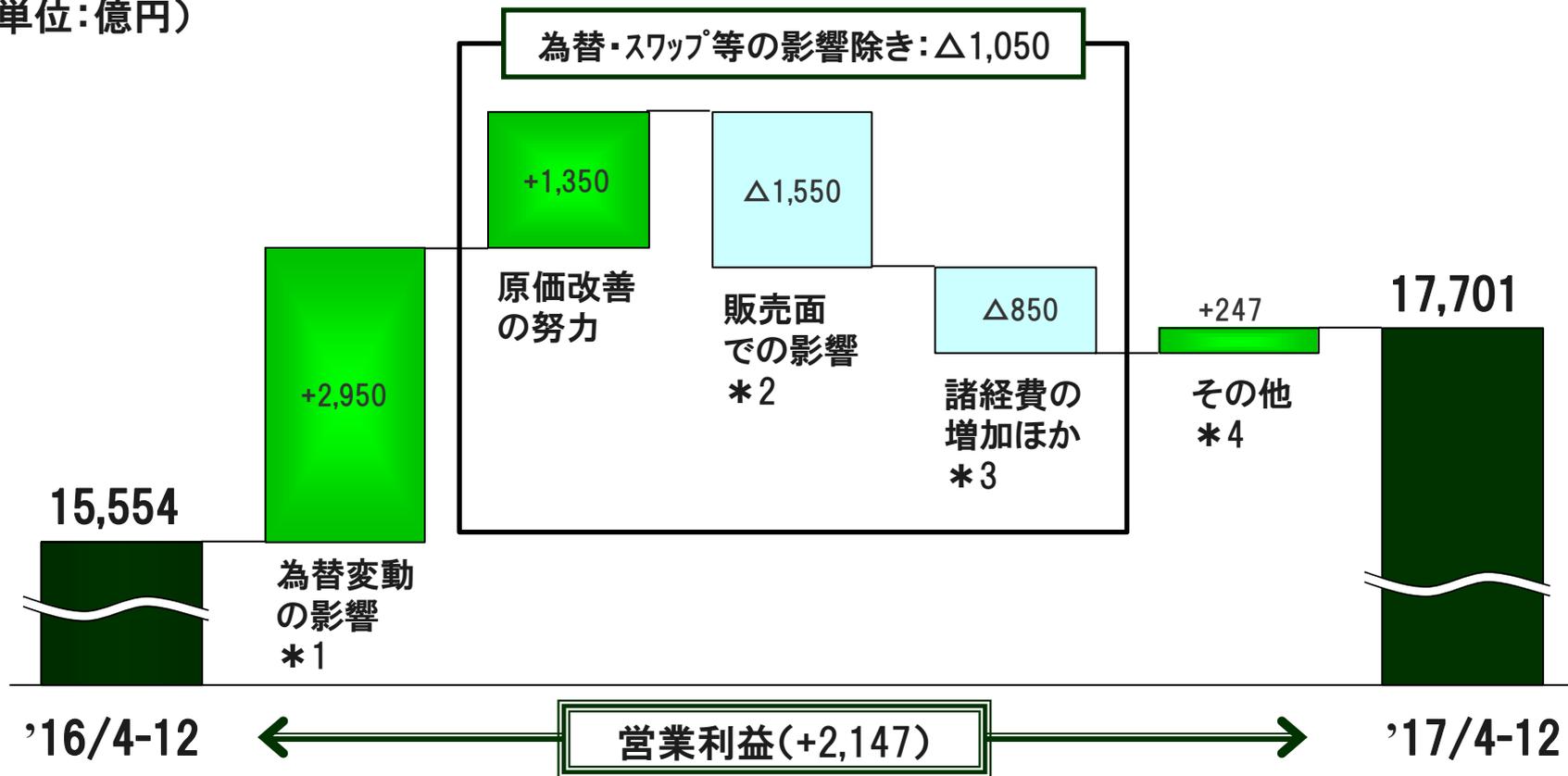
	当第3四半期 累計期間 (’17/4-12)	前年同期 (’16/4-12)	増減	
<b>売上高</b>	<b>217,969</b>	<b>201,547</b>	<b>+16,422</b>	<b>+8.1%</b>
<b>営業利益</b>	<b>17,701</b>	<b>15,554</b>	<b>+2,147</b>	<b>+13.8%</b>
営業利益率	8.1%	7.7%	-	-
<b>税金等調整前 当期純利益</b>	<b>20,031</b>	<b>17,640</b>	<b>+2,390</b>	<b>+13.6%</b>
<b>当期純利益</b> *1	<b>20,131</b>	<b>14,327</b>	<b>+5,804</b>	<b>+40.5%</b>
当期純利益率*1	9.2%	7.1%	-	-
<b>1株当たり利益</b> *2 (希薄化後)	<b>670.31円</b>	<b>467.35円</b>	<b>+202.96円</b>	<b>-</b>
為替 レート	米ドル ユーロ	112円 129円	107円 118円	+5円 +11円
				- -

\*1.当社株主に帰属する当期純利益

\*2.当社普通株主に帰属する当期純利益

# 連結営業利益 増減要因 (9ヶ月累計)

(単位:億円)



*1.内訳※		*2.内訳		*3.内訳		*4.内訳	
輸出入等の外貨取引分	+2,550	海外子会社の	+350	労務費	Δ400	スワップ評価損益	+247
-米ドル	+1,550	営業利益換算差		減価償却費	Δ300	ほか	
-ユーロ	+500	その他	+50	研究開発費	Δ150		
-その他通貨	+500	(外貨建引当の期末換算差ほか)		経費ほか	±0		

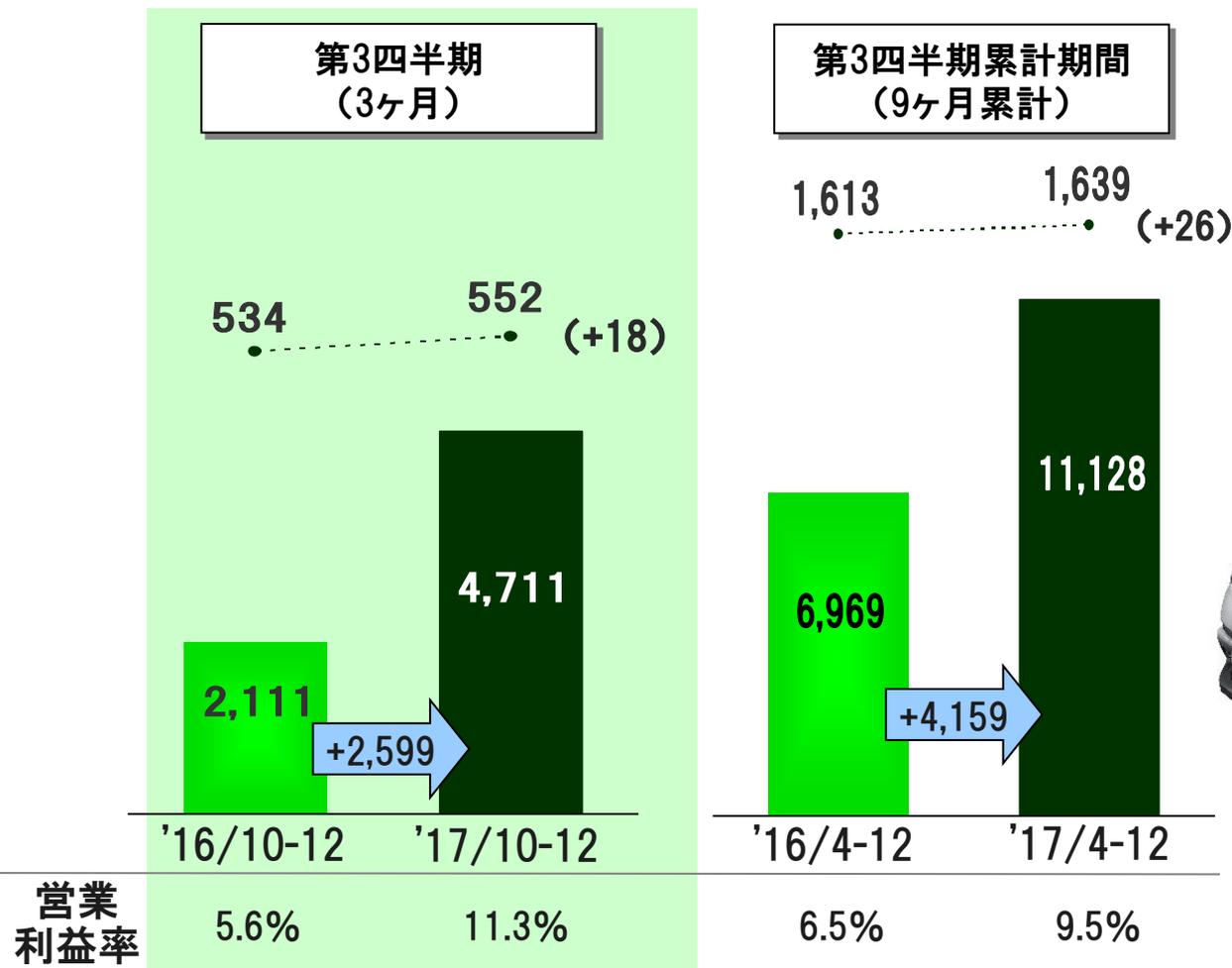
※先期末より、「為替変動の影響」に、海外子会社の営業利益換算差や外貨建引当の期末換算差等を含めています。

# 所在地別営業利益：日本

■ 営業利益(億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く>

-●- 連結販売台数(千台)

◇ 第3四半期(3ヶ月)  
 4,711億円  
 (前年同期比 +2,599億円)  
 ・為替変動の影響、営業面・  
 原価改善の努力により増益



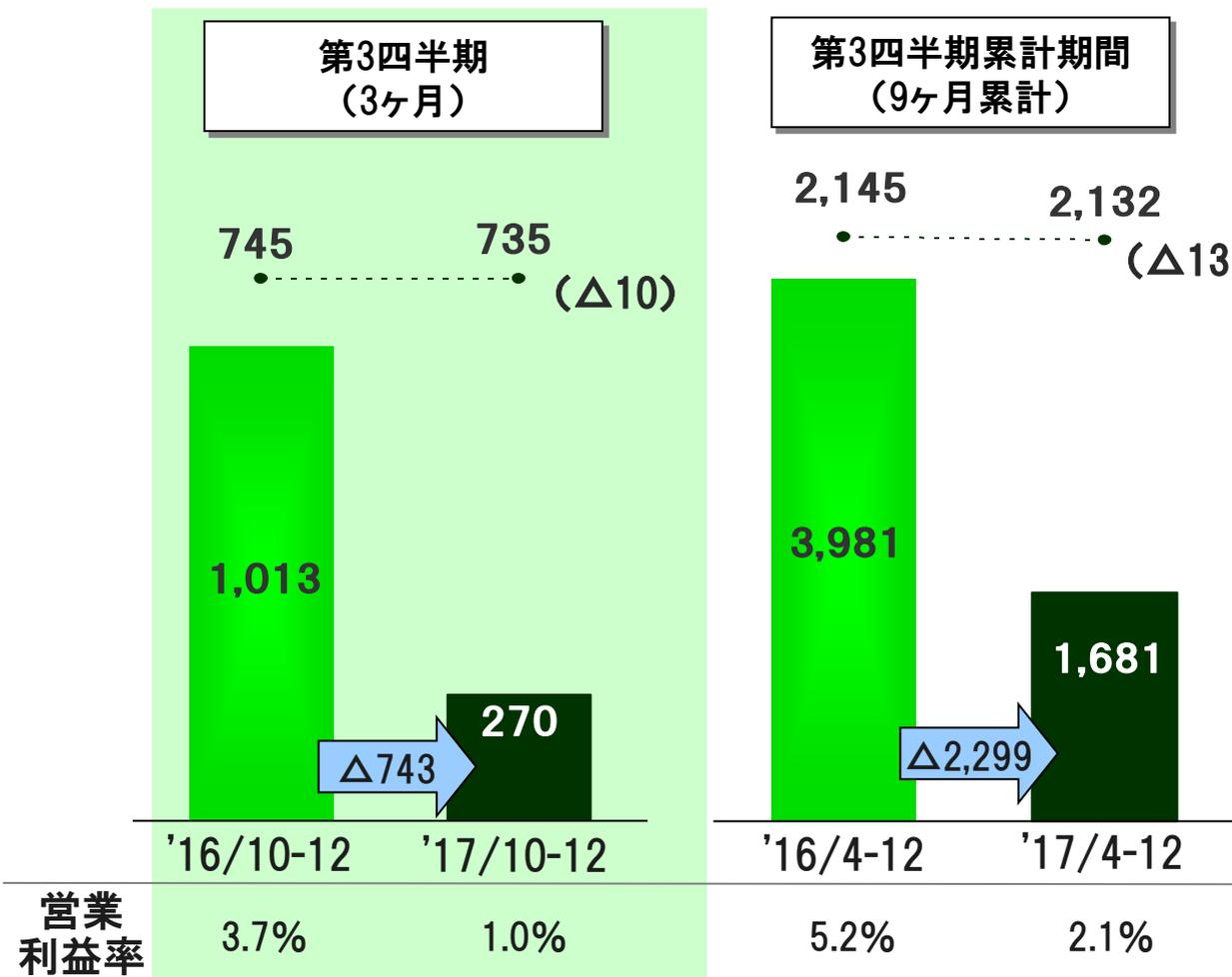
金利スワップなどの 評価損益を含む 営業利益(億円)	2,093	4,706	6,940	11,111
----------------------------------	-------	-------	-------	--------

# 所在地別営業利益：北米

■ 営業利益(億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く>

● 連結販売台数(千台)

◇ 第3四半期(3ヶ月)  
270億円  
(前年同期比 △743億円)  
・販売報奨金の増加や  
生産台数の減少により減益



LEXUS RX450hL

金利スワップなどの 評価損益を含む 営業利益(億円)	706	331	3,819	1,777
----------------------------------	-----	-----	-------	-------

# 所在地別営業利益：欧州

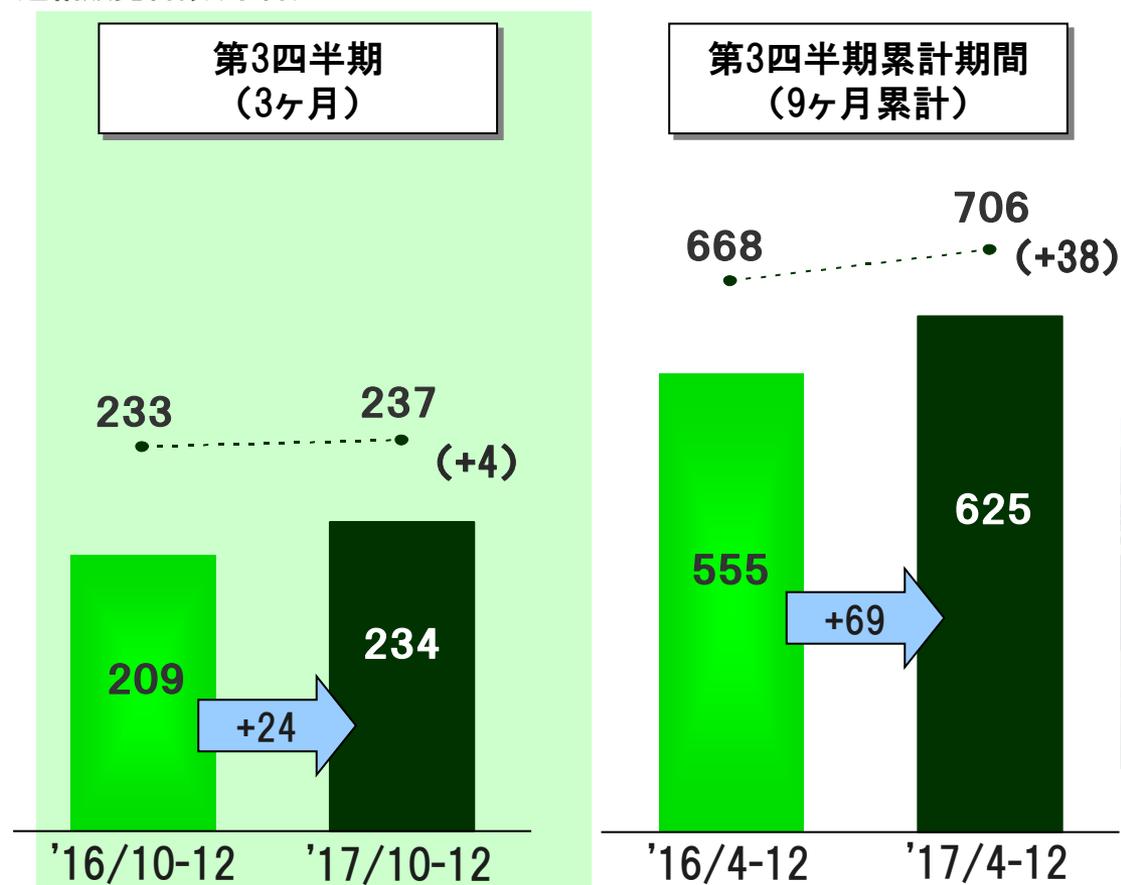
■ 営業利益(億円) < 金利スワップ取引などの評価損益を除く >

-●- 連結販売台数(千台)

◇ 第3四半期(3ヶ月)  
234億円  
(前年同期比 +24億円)  
・原価改善の努力により増益

第3四半期  
(3ヶ月)

第3四半期累計期間  
(9ヶ月累計)



YARIS

営業利益率

金利スワップなどの  
評価損益を含む  
営業利益(億円)

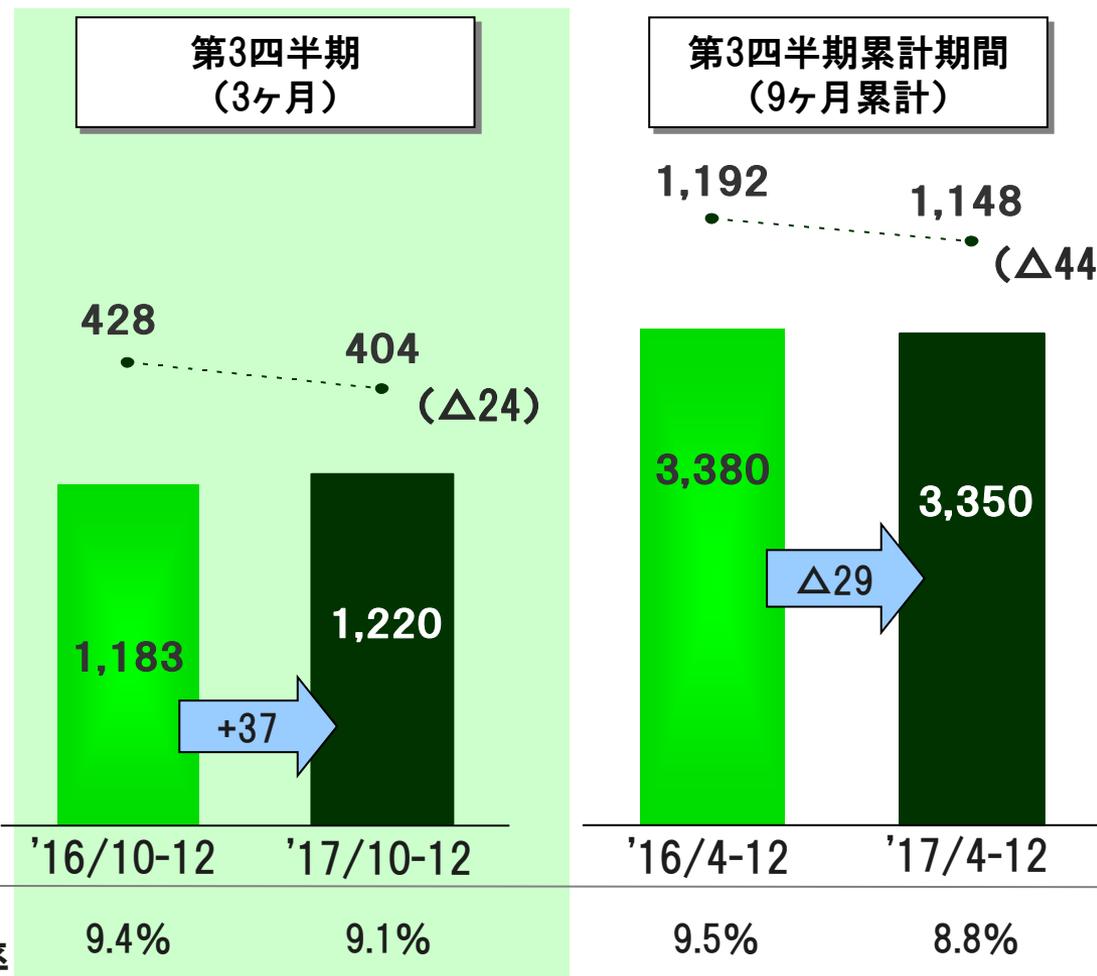
181      233      526      611

# 所在地別営業利益：アジア

■ 営業利益(億円) < 金利スワップ取引などの評価損益を除く >

-●- 連結販売台数(千台)

◇ 第3四半期(3ヶ月)  
1,220億円  
(前年同期比 +37億円)  
・営業面・原価改善の努力等  
により増益



KIJANG INNOVA

項目	'16/10-12	'17/10-12	'16/4-12	'17/4-12
営業利益(億円)	1,183	1,220	3,380	3,350
金利スワップなどの評価損益を含む営業利益(億円)	1,246	1,236	3,474	3,378

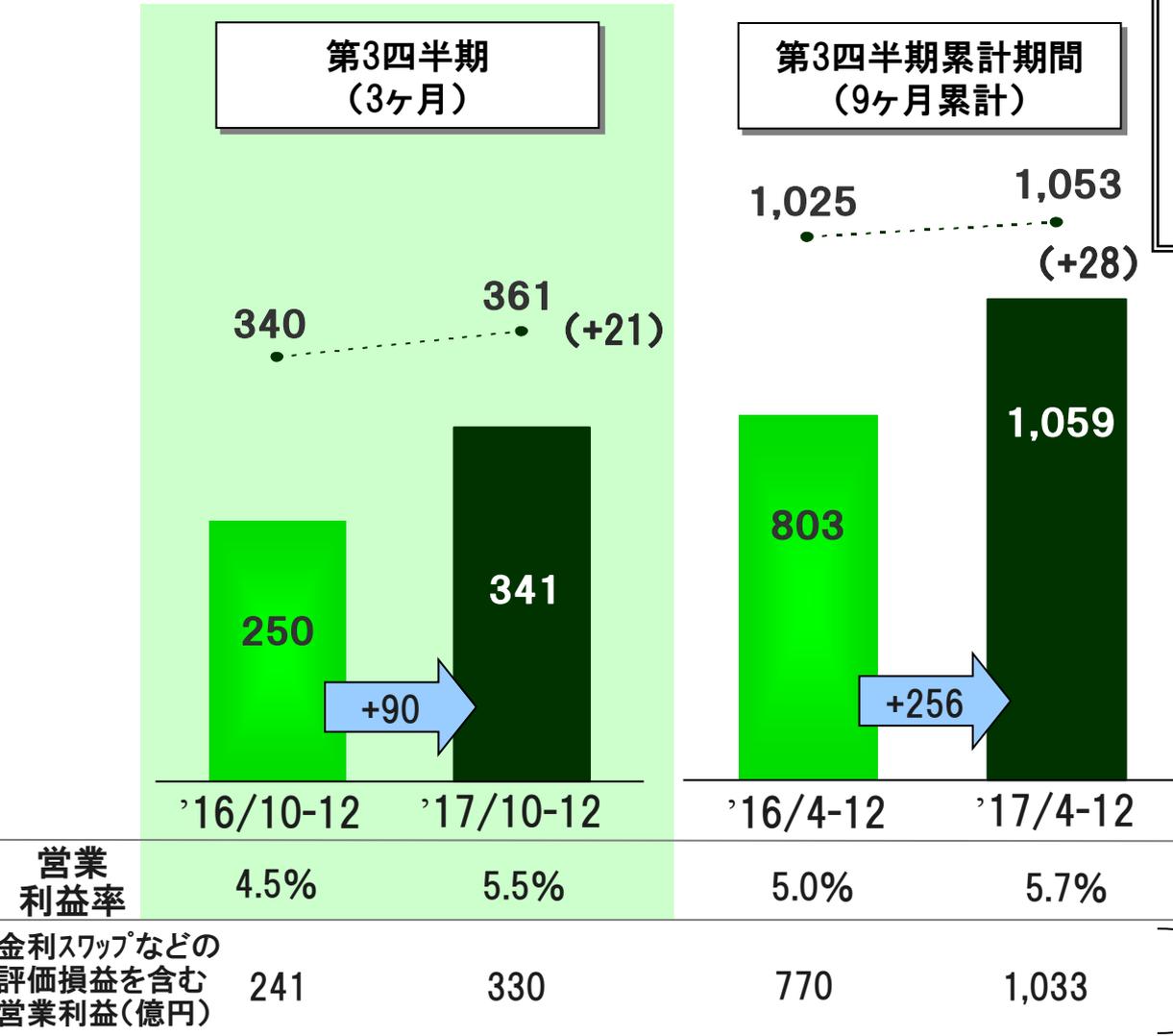
# 所在地別営業利益

中南米・オセアニア  
アフリカ・中近東

TOYOTA

■ 営業利益(億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く>  
-●- 連結販売台数(千台)

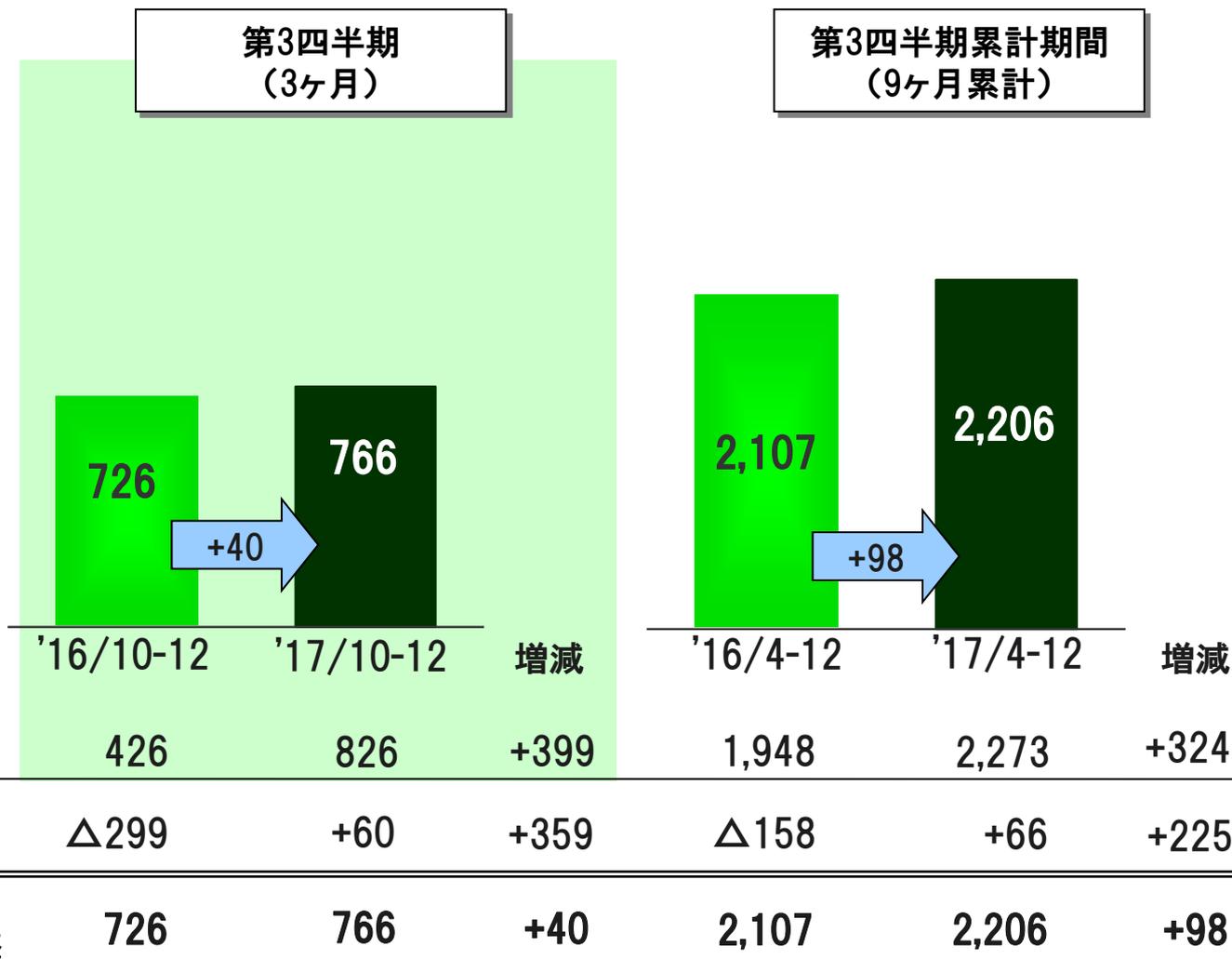
◇第3四半期(3ヶ月)  
341億円  
(前年同期比 +90億円)  
・営業面の努力により増益



HILUX

# 金融セグメント営業利益

(単位:億円)



◇第3四半期(3ヶ月) 融資残高の増加、北米を中心に貸倒コストが減少したこと等により増益

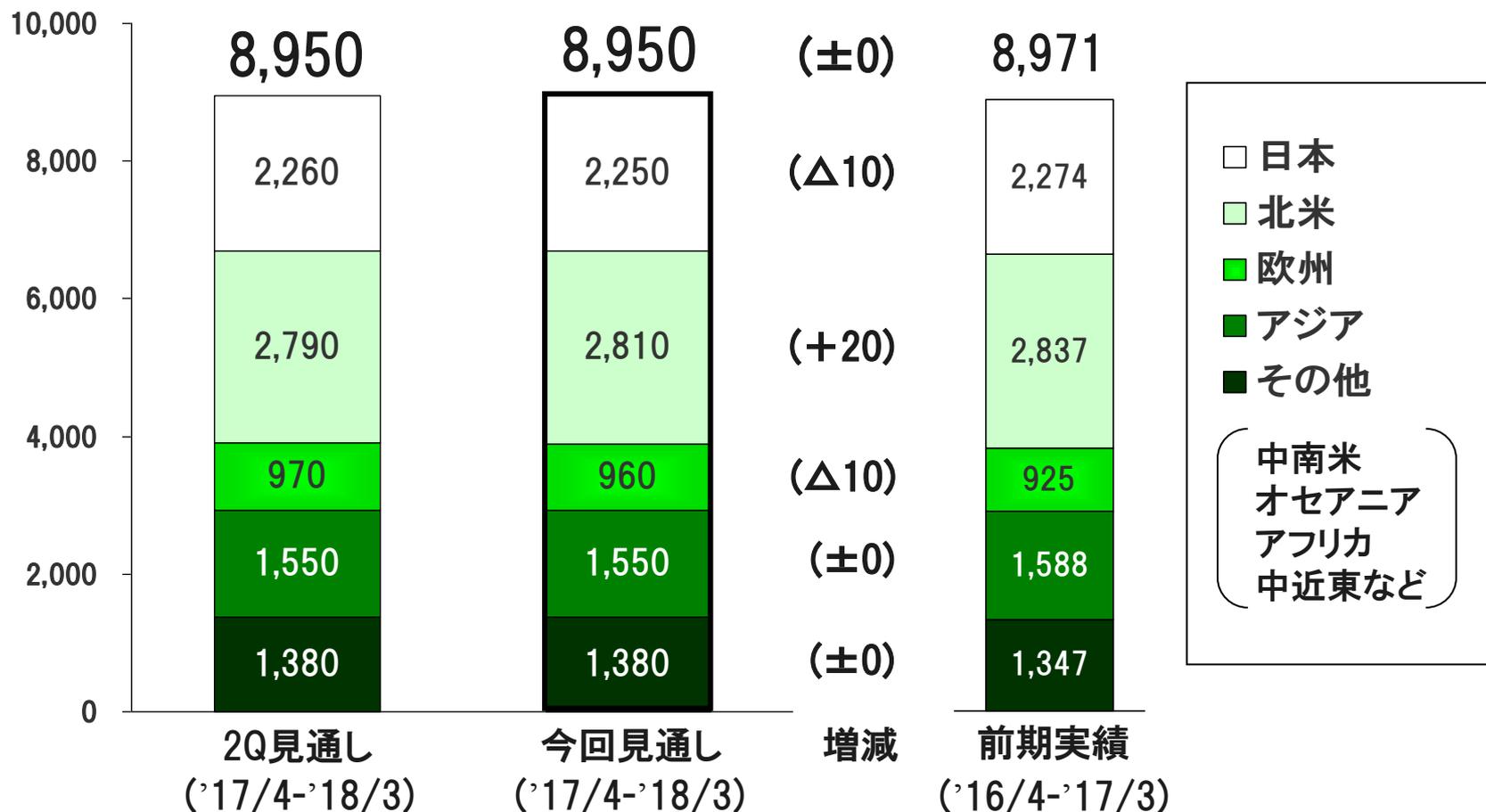
# 2018年3月期 第3四半期 決算説明会

2018年3月期 第3四半期 実績

2018年3月期 見通し

# (見通し) 連結販売台数

(単位:千台)



グループ  
総販売台数(小売)

10,250

10,300

+50

10,251

# (見通し) 連結決算要約

(単位:億円)

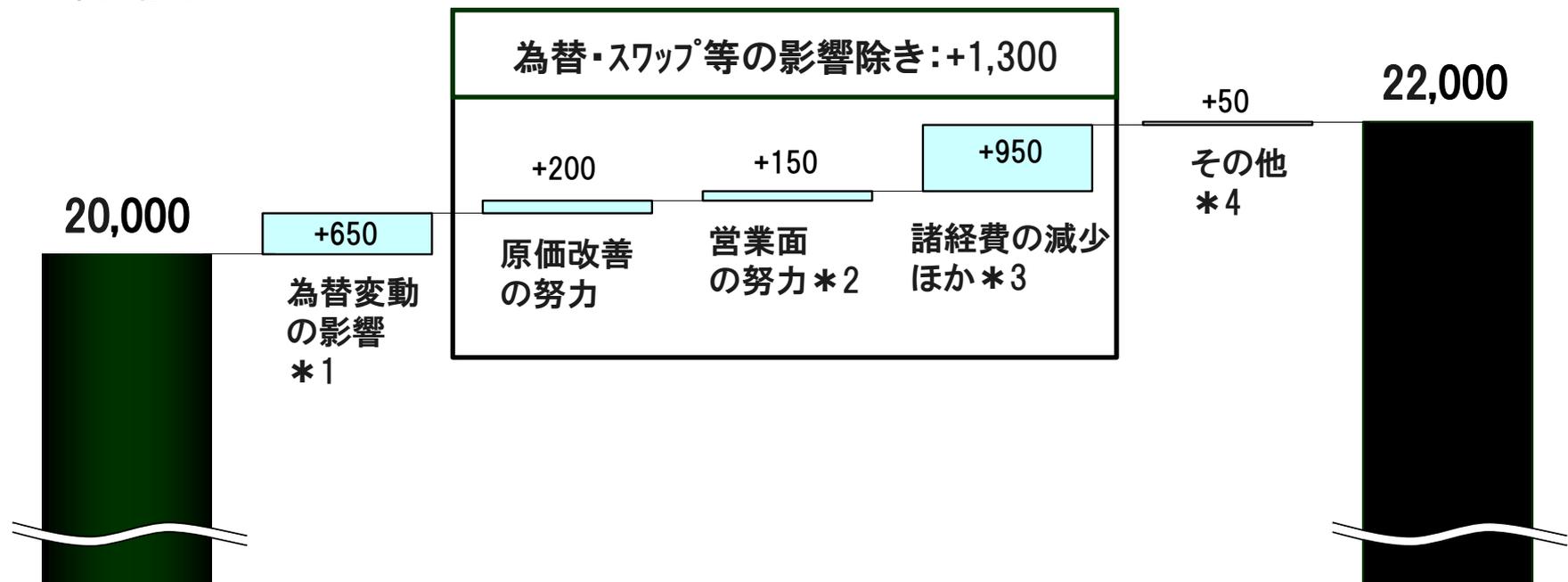
	今回 見通し (’17/4-’18/3)	2Q 見通し (’17/4-’18/3)	増減	前期実績 (’16/4-’17/3)	
<b>売上高</b>	290,000	285,000	+5,000	275,971	
<b>営業利益</b>	22,000	20,000	+2,000	19,943	
営業利益率	7.6%	7.0%	-	7.2%	
<b>税金等調整前 当期純利益</b>	24,500	22,500	+2,000	21,938	
持分法投資損益	4,400	4,100	+300	3,620	
<b>当期純利益</b> *1	24,000	19,500	+4,500	18,311	
当期純利益率*1	8.3%	6.8%	-	6.6%	
為替 レート	米ドル	111円 *2	111円	±0円	108円
	ユーロ	129円 *2	128円	+1円	119円

\*1. 当社株主に帰属する当期純利益

\*2. ’18年1月以降の前提為替レート:米ドル110円、ユーロ130円

# (見通し)連結営業利益 増減要因(2Q見通し差)

(単位:億円)



2Q見通し  
( '17/4-'18/3 )  
〔 111円/ドル  
128円/ユーロ 〕

営業利益(+2,000)

今回見通し  
( '17/4-'18/3 )  
〔 111円/ドル  
129円/ユーロ 〕

**\*1.内訳※**

輸出入等の外貨取引分	+600	海外子会社の	
-米ドル	+450	営業利益換算差	+50
-ユーロ	+50	その他	±0
-その他通貨	+100	(外貨建引当の期末換算差ほか)	

**\*2.内訳**

台数・構成	+200
金融事業	+200
その他	△250

**\*3.内訳**

労務費	△100
減価償却費	±0
研究開発費	±0
経費ほか	+1,050

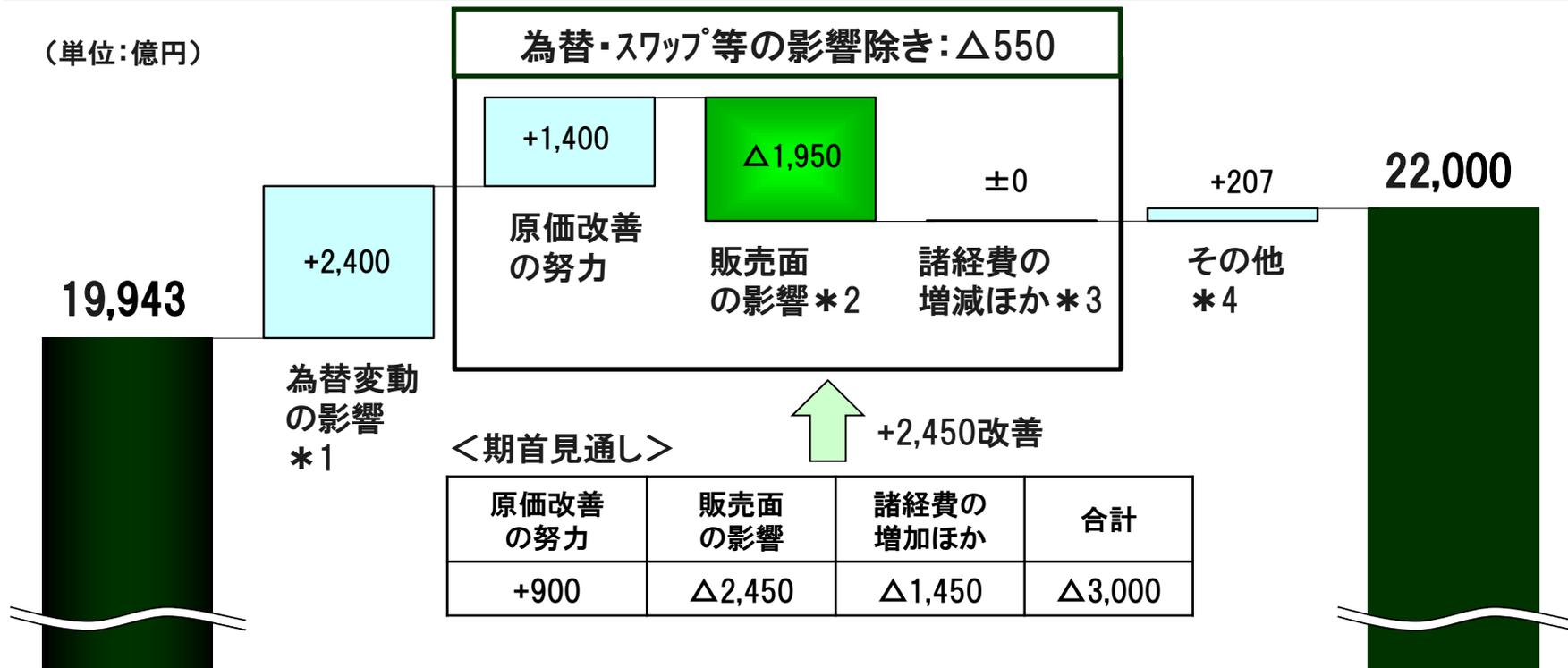
**\*4.内訳**

スワップ評価損益ほか	+50
------------	-----

※先期末より、「為替変動の影響」に、海外子会社の営業利益換算差や外貨建引当の期末換算差等を含めています。

# (見通し)連結営業利益 増減要因(前期差)

(単位:億円)



'17/3期実績  
〔 108円/ドル  
119円/ユーロ 〕

営業利益(+2,057)

'18/3期 今回見通し  
〔 111円/ドル  
129円/ユーロ 〕

**\*1.内訳※**

輸出入等の外貨取引分	+2,150	海外子会社の	
-米ドル	+1,300	営業利益換算差	+250
-ユーロ	+600	その他	±0
-その他通貨	+250	(外貨建引当の期末換算差ほか)	

**\*2.内訳**

台数・構成	Δ400
金融事業	+200
その他	Δ1,750

**\*3.内訳**

労務費	Δ700
減価償却費	Δ450
研究開発費	Δ200
経費ほか	+1,350

**\*4.内訳**

スワップ評価損益ほか	+207
------------	------

※先期末より、「為替変動の影響」に、海外子会社の営業利益換算差や外貨建引当の期末換算差等を含めています。

# 競争力強化に向けた取り組み

## 未来のモビリティ社会の実現 に向けた取り組みの加速

### 電動化 / 自動運転 / MaaS\*

- パナソニックとの協業
- 電動車普及に向けたチャレンジ
- 自動運転実験車「プラットフォーム3.0」
- 「e-Palette Concept」

\* Mobility as a Service

## TNGA

仕入れ先様と一体となった、  
更なる商品力強化・原価低減  
を推進

## モノづくり / 技能伝承

河合副社長  
から説明

「変化に対応し続ける強いモノづくり集団」の育成

# 2018年3月期 第3四半期 決算説明会

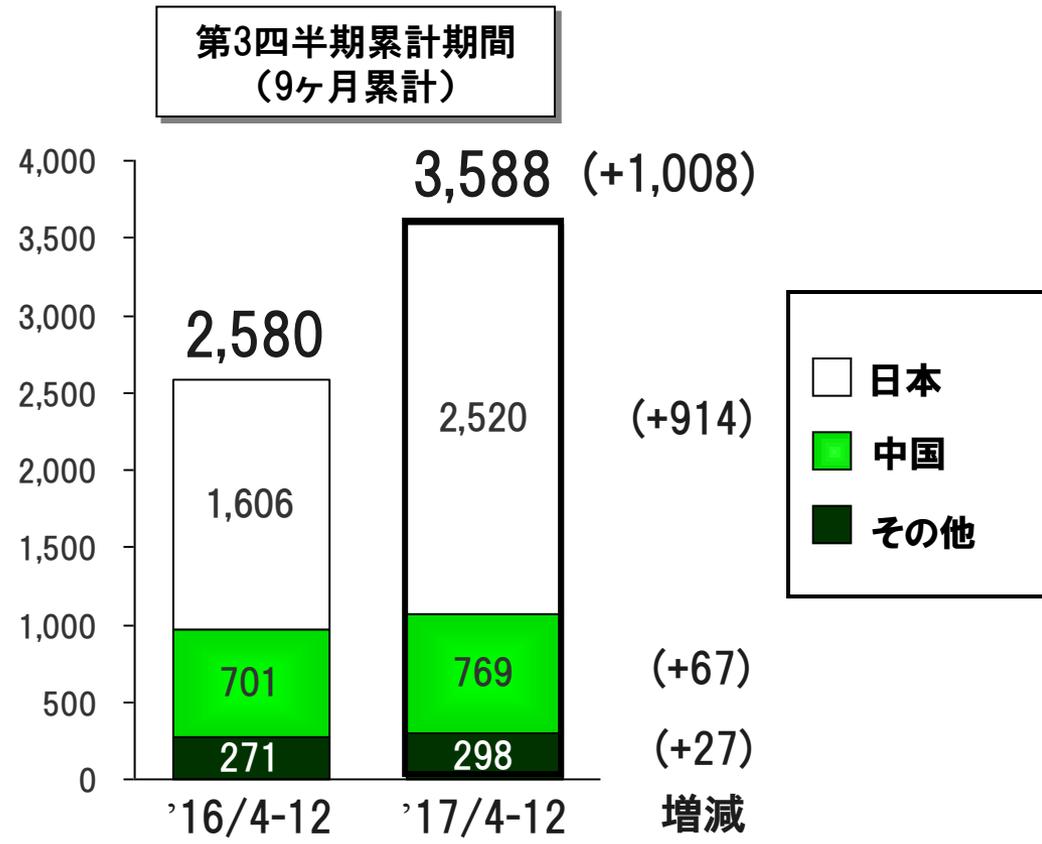
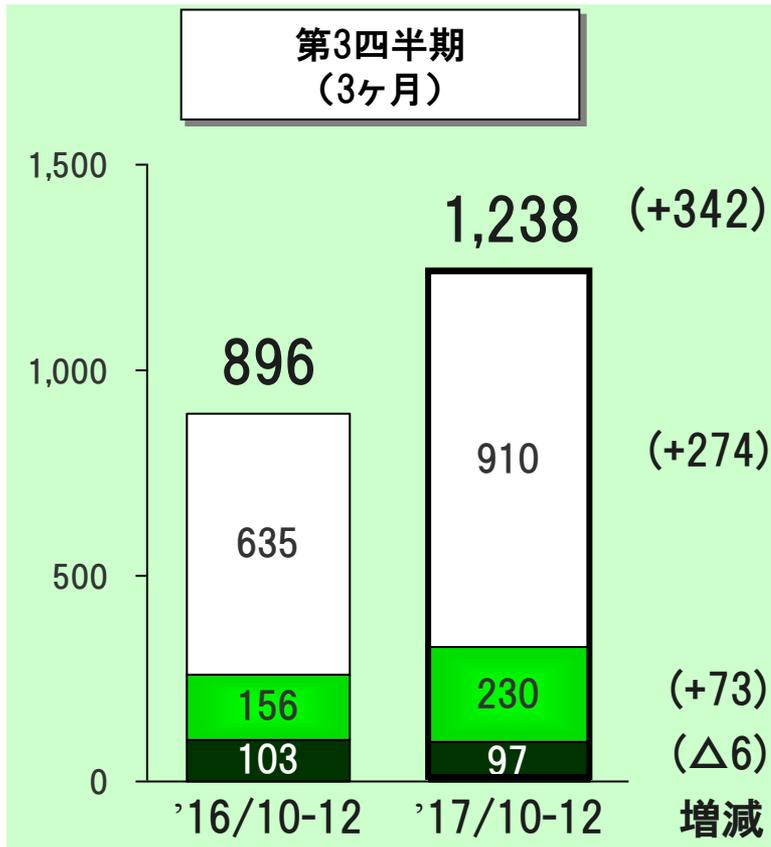


Lexus LF-1 Limitless  
(デトロイトモーターショー出展車両)

トヨタ自動車株式会社  
2018年2月6日

# (ご参考) 持分法投資損益

(単位:億円)



中国販売実績<小売台数(千台)>

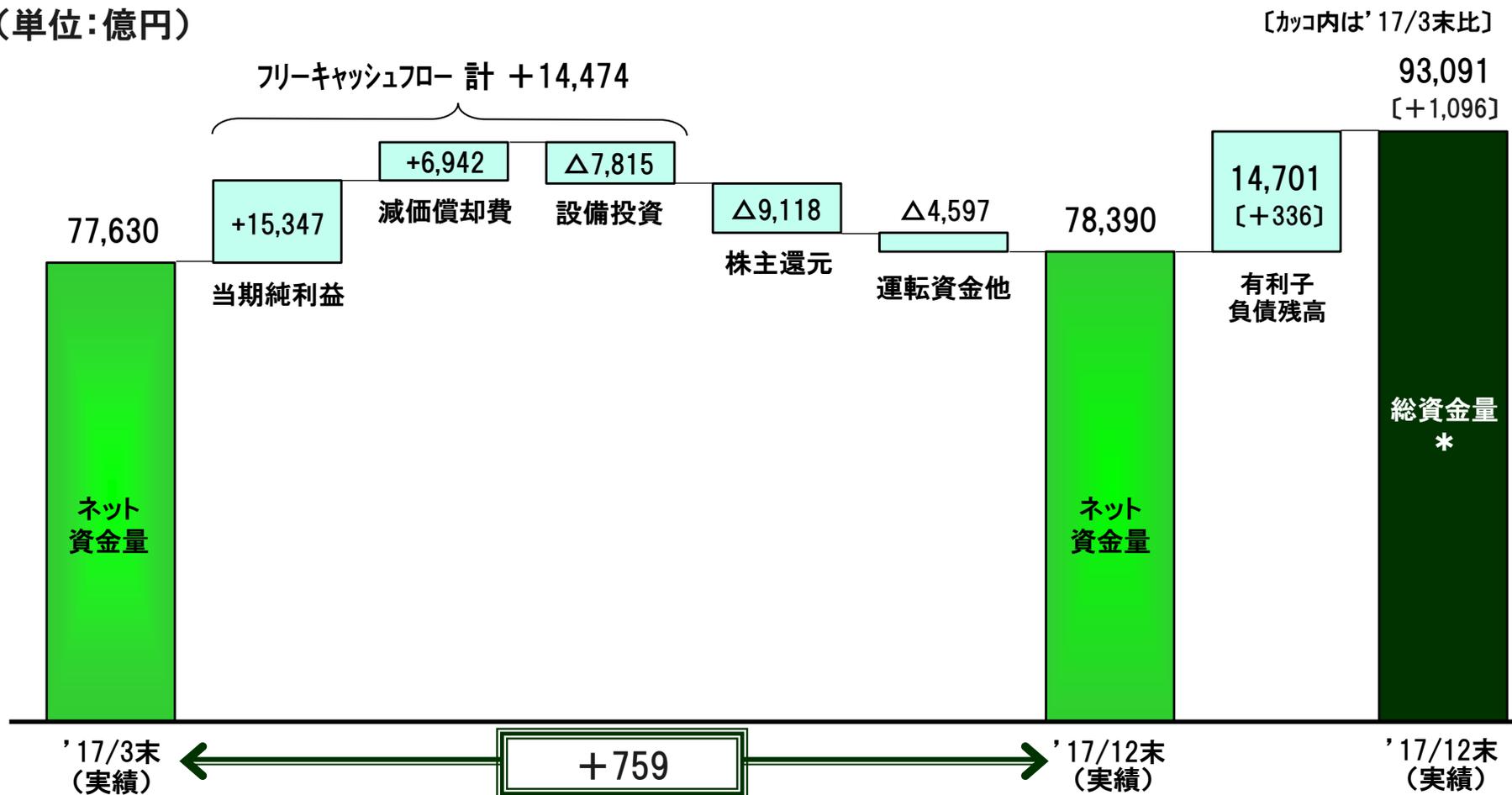
期間	台数	増減
'16/7-9	301	
'17/7-9	340	+39

期間	台数	増減
'16/1-9	898	
'17/1-9	969	+71

# (ご参考)連結資金量(除く金融)

'17/12末 ネット資金量：78,390億円 ('17/3末比+759億円)

(単位:億円)

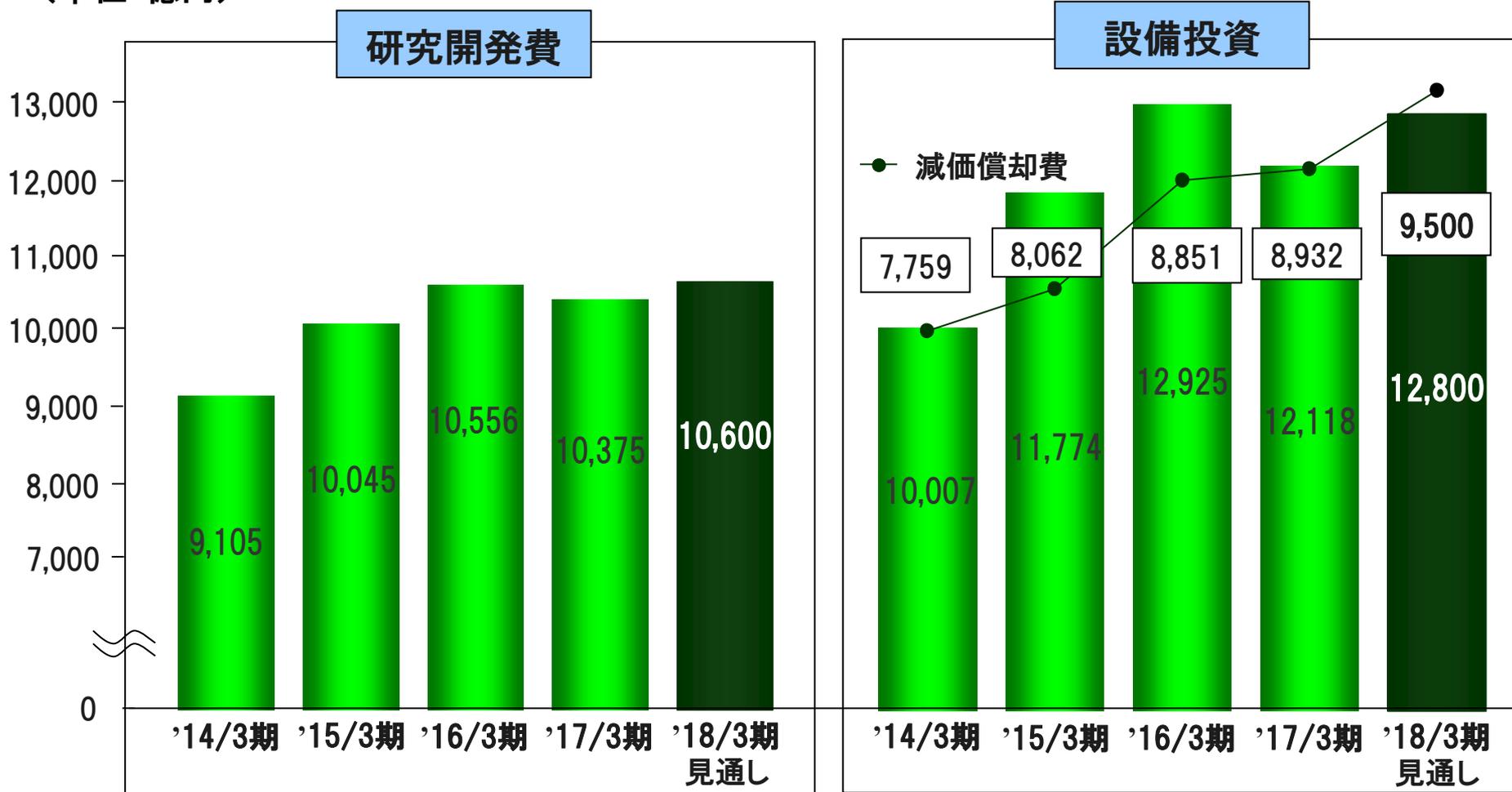


\* 総資金量:金融事業を除いた「現金及び現金同等物」「定期預金」「有価証券」「投資有価証券(除く株式)」等

(ご参考)

# 研究開発費・設備投資・減価償却費

(単位:億円)



2Q時点見通しからの増減:  
研究開発費 ±0億円

設備投資 ±0億円

減価償却費 ±0億円

# (ご参考) 台数見通し

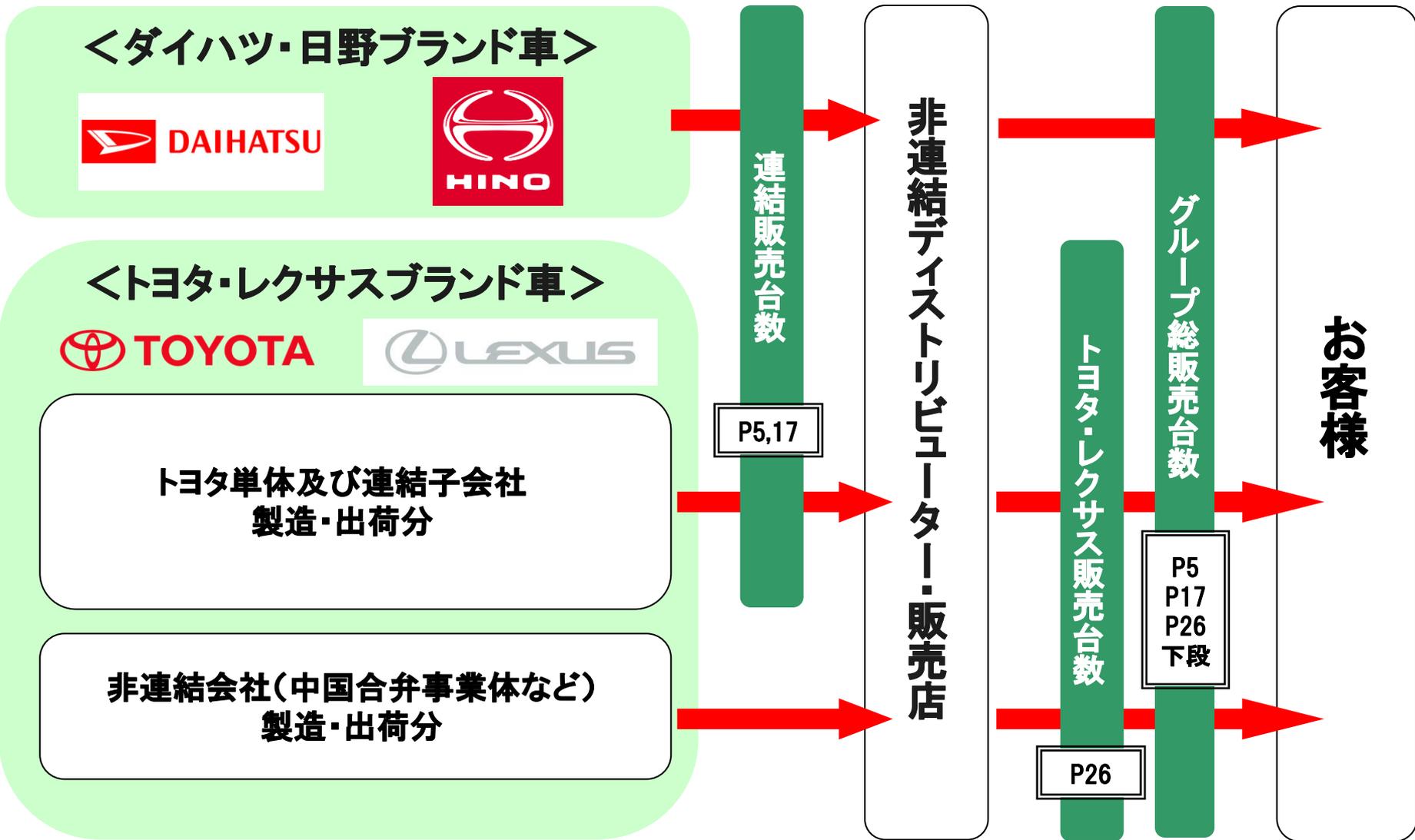
(単位:千台)

			今回 見通し (’17/4-’18/3)	2Q 見通し (’17/4-’18/3)	増減
トヨタ・レクサス	生産 *1	国内	3,200	3,180	+20
		海外	5,750	5,770	△20
		合計	8,950	8,950	±0
	販売 (小売) *2	国内	1,580	1,580	±0
		海外	7,770	7,720	+50
		合計	9,350	9,300	+50
	輸出		1,850	1,800	+50
グループ総販売(小売)*2 … ダイハツ、日野ブランド含む			10,300	10,250	+50

\*1. 非連結会社による生産台数を含む

\*2. 非連結会社による販売台数を含む

# (ご参考) 販売台数について



\*一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り